

「しまね・ハツ・建設ブランド」登録技術：A1301



大自然が基本

森林発生材使用の21世紀の緑化基材

アルティマソイル

NET 40ℓ

1997年の京都会議より地球温暖化やダイオキシン発生の為、森林発生材を燃やせなくなりました。その森林発生材を「緑から緑へ」の合言葉を元に戻すために開発したのがアルティマソイルです。

アルティマソイルは、森林開発時において発生する樹木の枝・伐根や木製品を製造する際、発生する樹皮などを主原料に堆肥化し、保肥材・保水材・PH調整材などを加え、さらに開発地の発生木をチップ化して植物が育ちやすいように特殊加工して混合した緑化基材です。



【製造】

【販売】

NPO 法人日本パーク堆肥協会会員

FOREX 株式会社 FOREX トーリン

広島県三次市三原町16-1 TEL(0824)63-1819 FAX(0824)63-2751

法面はゴミ捨て場ではありません。最近リサイクルを重視のあまり、環境汚染になるような物も混入される懸念もあります。当社では『大自然が基本』をスローガンに、主原料はもちろん副原料も吟味して生産しています。

アルティマソイルは、森林発生材を細かく繊維状に粉碎して粒度を揃えています。したがって現在ご使用の厚層基材用機械で効率よく施工できます。

アルティマソイルの特徴

保肥力

良質なバーク堆肥を使用し陽イオン交換容量を高め優れた保肥力を有します。

保水力

植物性多孔質と無機性保水材の力で、土壌の保水性を保ち乾燥時においても撥水性を防ぎます。

施工効率が 高い

行き届いた品質管理の生産によって製品の安定性・施工効率が極めて高いです。

流れ にくい

樹皮や木質系の植物性繊維によりがっちりとかみあい、雨に対しての流亡性を少なくし、施工時においても厚みをつけやすいです。

大部分が リサイクル

アルティマソイルは森林開発時に発生する樹木の枝・伐根や木製品を製造する際、発生する樹皮などを主原料に副原料もリサイクルをテーマに使用しています。

使って 安心

アルティマソイルは、法面における自然環境への影響力の大きさを考え、全ての原料を安全性第一で考え使用しています。

機械は従来型でOK!!

アルティマソイルは、グリーン購入法の特典調達品目である、良質のバーク堆肥を主原料に無機・有機の保水材を加え、森林廃棄物である森林発生材を樹種や法面の環境により10パーセントから50パーセントの間で混合しリサイクルをテーマに開発した緑化基材です。アルティマソイルは森林発生材の主たる樹種の性質を分けることと、優れた2次破碎技術により従来困難だった森林発生材の緑化基材の利用に成功しました。

アルティマソイル 使用フロー チャート

アルティマソイル中の森林発生材割合は現地及び使用法面の環境を考慮して使用容量を決めます。

アルティマソイルは、汚水問題や騒音問題等クリアした現地でも各種プラントを設置して作ることも可能です。

現地において法面施工で発生する森林発生材の量と時期を調べる

森林発生材の樹種を調べ種類別に発生する量を調べる

アルティマソイルに混合する量を定める(10%~50%)

工場までの搬出方法を決める(仮粉碎をするかどうか)

製造

出荷

アルティマソイル成分表

項目	含量(乾物)
有機物	60%以上
全窒素	1.2%以上
全リン酸	0.5%以上
全カリ	0.3%以上
炭素率	40以下
P H	5.5~7.5
C E C	50meq/100g以上
幼植物試験	異常を認めない